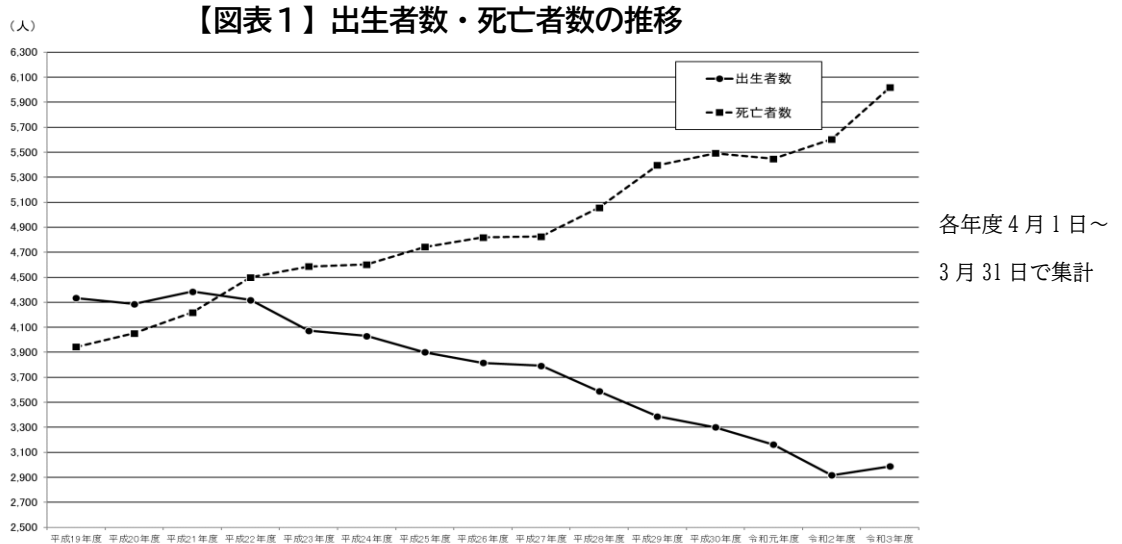


1 住民基本台帳に基づく人口の増減

(1) 自然動態

八王子市では、平成 22 年度（2010 年度）に死亡者数が出生者数を上回る「自然減」へと転じて以降、その差は年々大きくなっており、令和 3 年度（2021 年度）には、出生者が 2,988 人、死亡者が 6,017 人で、3,029 人の自然減となった。【図表 1】

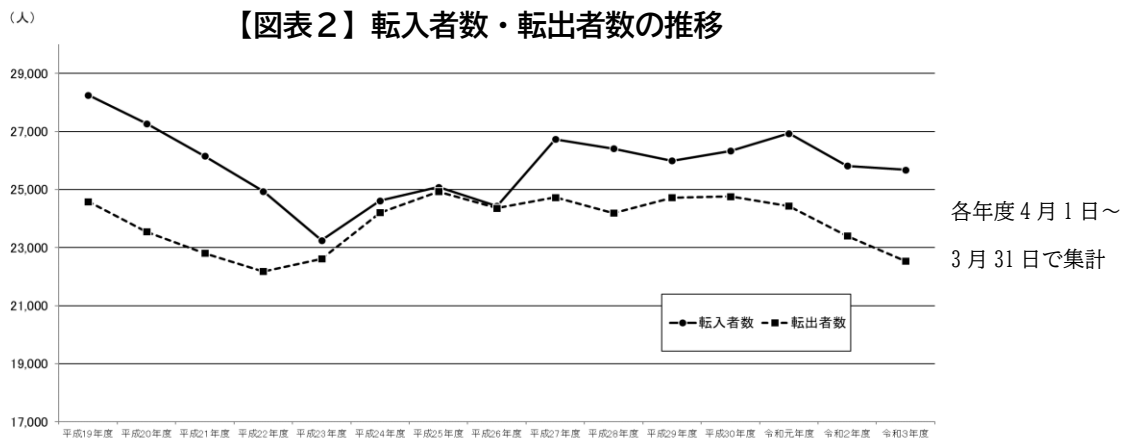


出典：八王子市 HP 「住民基本台帳 人口の増減」

(2) 社会動態

八王子市の転入、転出による社会動態は、平成 22 年度（2010 年度）までは転入者数が転出者数を上回る「社会増」が続いていたが、平成 23 年度（2011 年度）にその差が大きく減少し、平成 26 年度（2014 年度）には転入者数と転出者数がほぼ均衡した。

その後、平成 27 年度（2015 年度）から再び転入者数が転出者数を上回っており、令和 3 年度（2021 年度）は、3,142 人の社会増となっている。【図表 2】



出典：八王子市 HP 「住民基本台帳 人口の増減」

※平成 24 年（2012 年）の住民基本台帳法一部改正により、住民基本台帳人口に外国人住民も含まれることになったが、人口増減の経年比較をするために、平成 24 年度（2012 年度）の転入者数から、増加となった外国人住民の人口（8,932 人）を除いている。

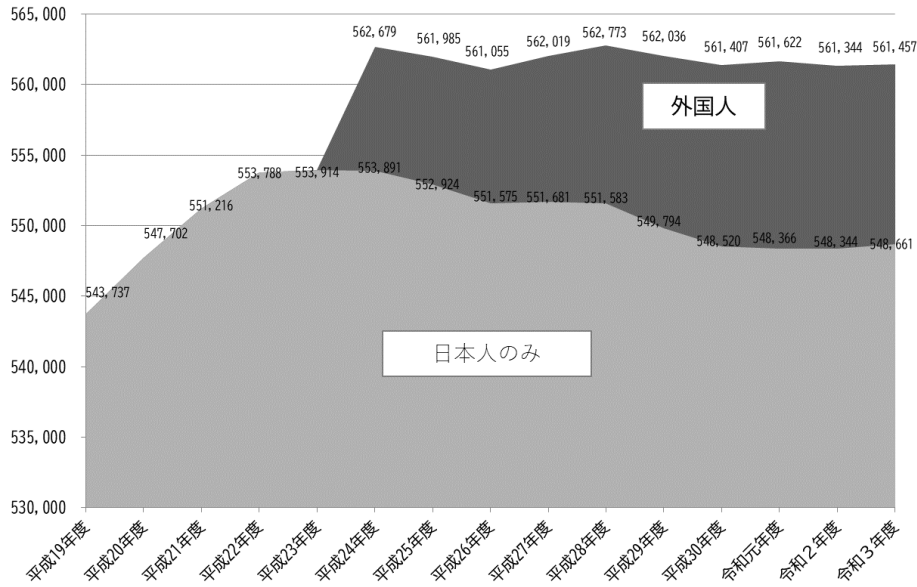
2. 人口の推移

(1) 住民基本台帳人口

住民基本台帳における本市の総人口は、平成 23 年度（2011 年度）まで増加が続いたが、平成 24 年度（2012 年度）からはほぼ横ばいに推移している。ただし、外国人を除いた日本人のみの人口は、平成 23 年度（2011 年度）をピークに減少傾向が続いており、平成 30 年度（2018 年度）以降はほぼ横ばいに推移している。【図表 3】

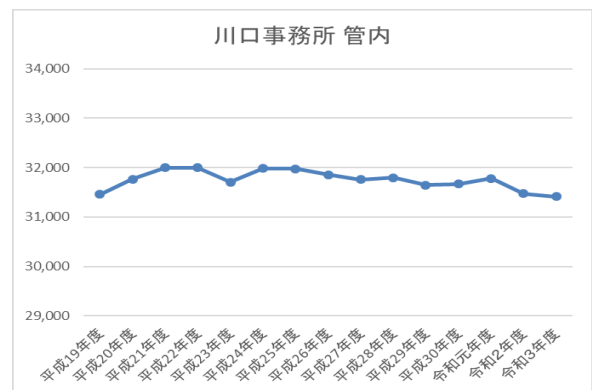
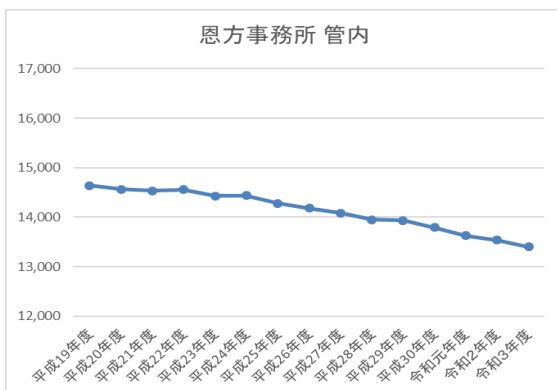
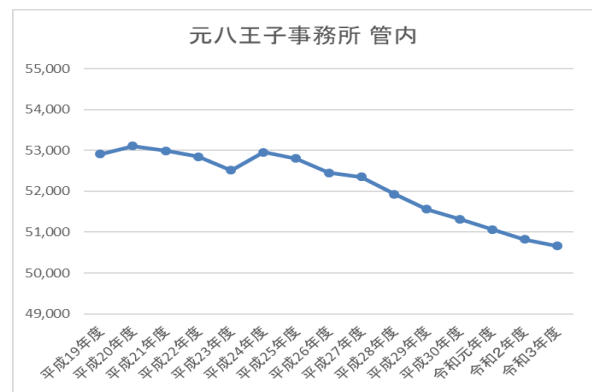
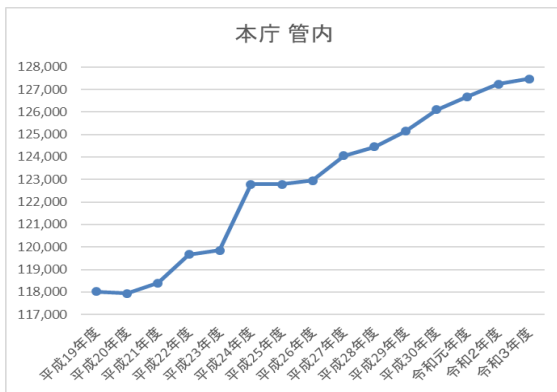
なお、市内各地域（各事務所管内）の人口の推移（各年度 3 月 31 日時点）を参考に示す。【図表 4】

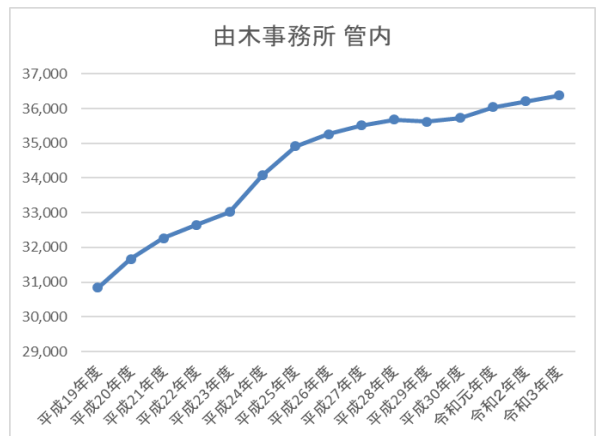
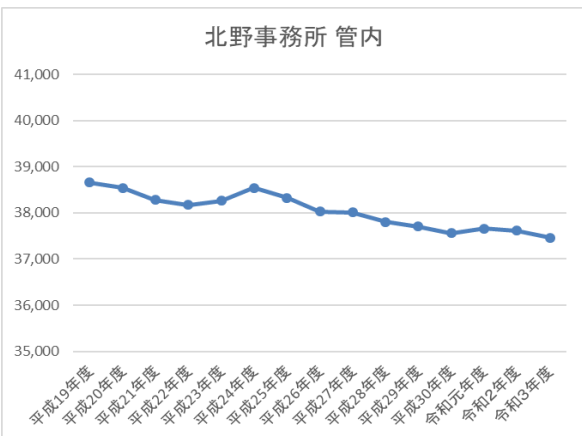
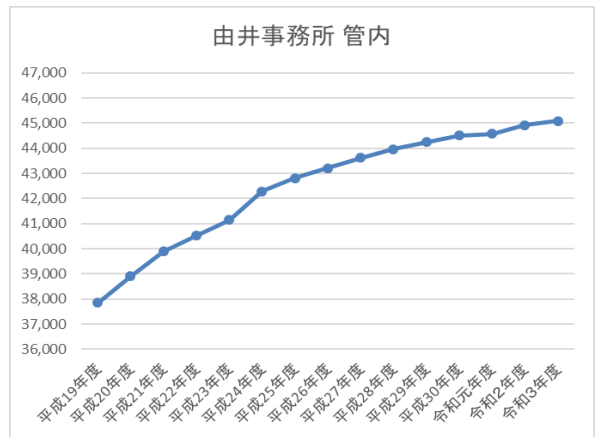
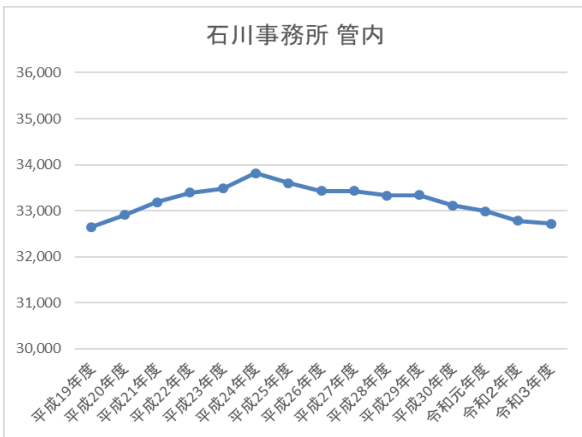
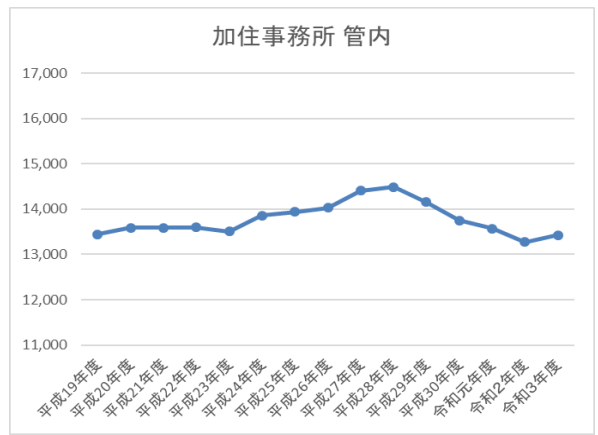
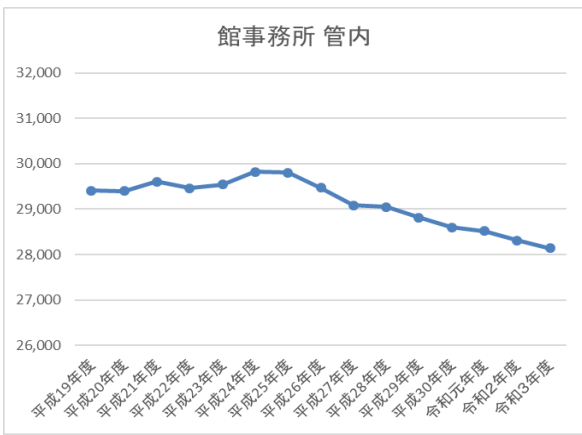
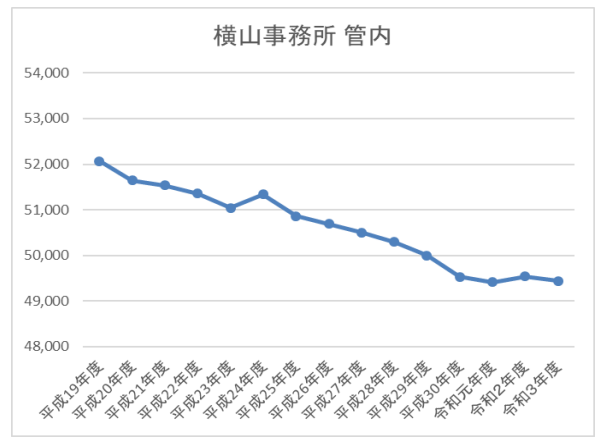
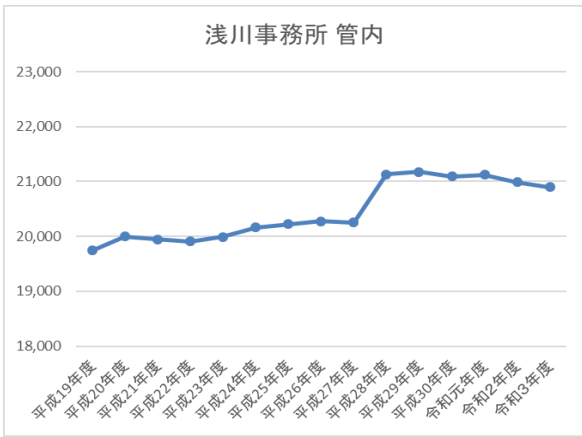
【図表 3】市内全体の人口の推移（住民基本台帳）

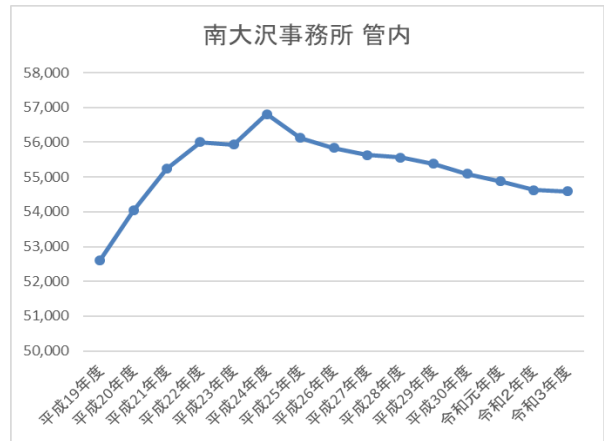
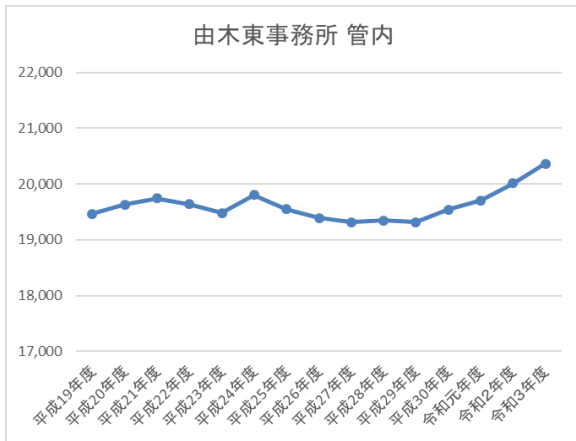


※住民基本台帳法改正により、平成 24 年度（2012 年度）以降は、住民基本台帳人口に外国人住民が含まれている。

【図表 4】市内各地域の人口の推移（住民基本台帳）





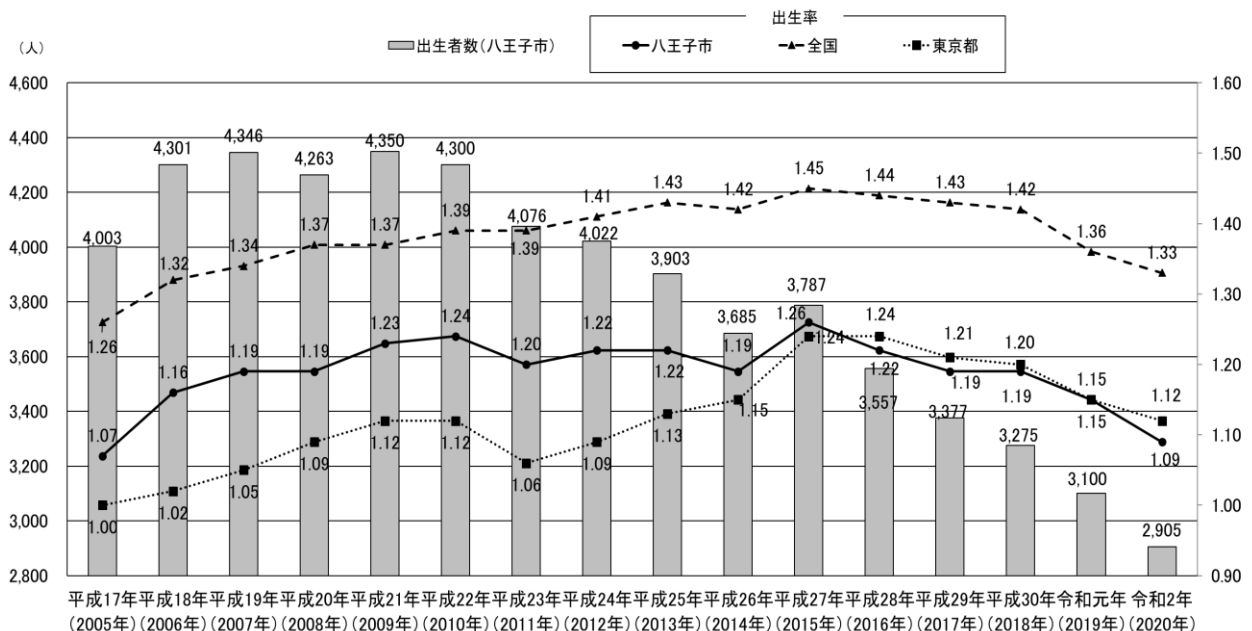


(2) 出生率と出生者数

出生率の推移については、平成17年（2005年）から平成22年（2010年）にかけて、国と同様に上昇傾向にあり、以降は横ばいで推移していた。しかし、平成30年（2018年）から令和2年（2020年）にかけては、大幅に減少し1.09となった。ただし、この推移については、国や都も同様の傾向を見せている。

また、出生者数は、増減を繰り返しながら推移していたものの、平成21年（2009年）以降は減少傾向が続き、平成27年（2015年）には一旦増加したが、令和2年（2020年）には2,905人と平成17年（2005年）以降で最少となっている。【図表5】

【図表5】出生率と出生者数の推移



出典：東京都福祉保健局 令和2年人口動態統計

※ 令和3年（2021年）分は未公開

3. 新型コロナウイルス感染症の人口への影響

21の大学等（大学・短期大学・高専）を有し、全国有数の学園都市である本市においては、例年、月別の人口推移に、学生（10代後半）の影響が色濃く反映されている。すなわち、大学進学タイミングである3月から4月にかけて、大幅な人口増加が見られ、以降年度末に向けて徐々に減少していくというものである。

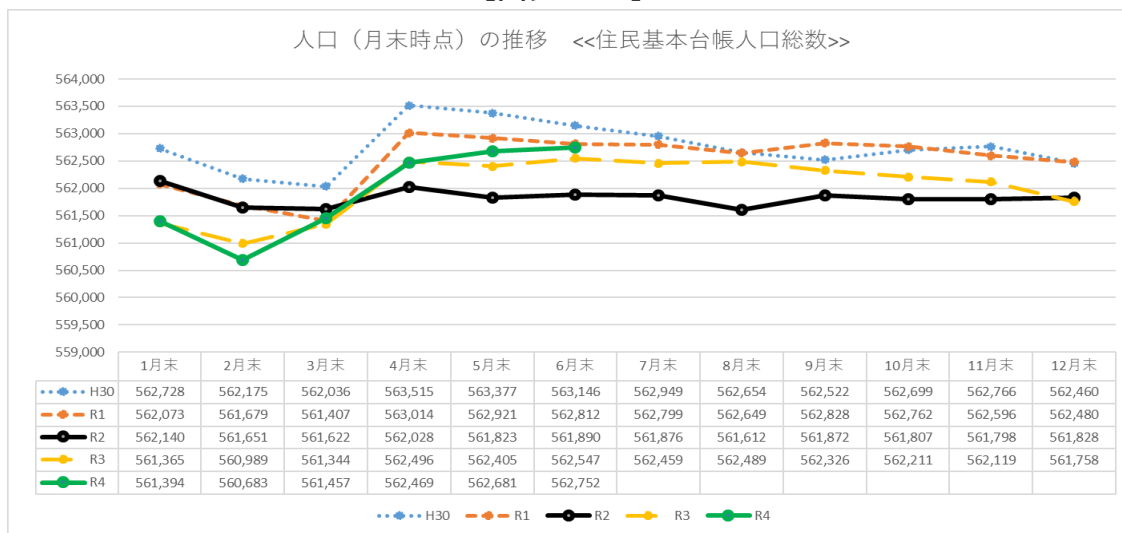
そうした傾向がある中で、令和2年度（2020年度）においては、令和元年度（2019年度）末から流行が始まった、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に現れる結果となった。【図表6-1】

特に、本市の月別人口推移に影響を与える10代後半に焦点を当てると、全体の傾向と同様の結果が見られた。【図表6-2】

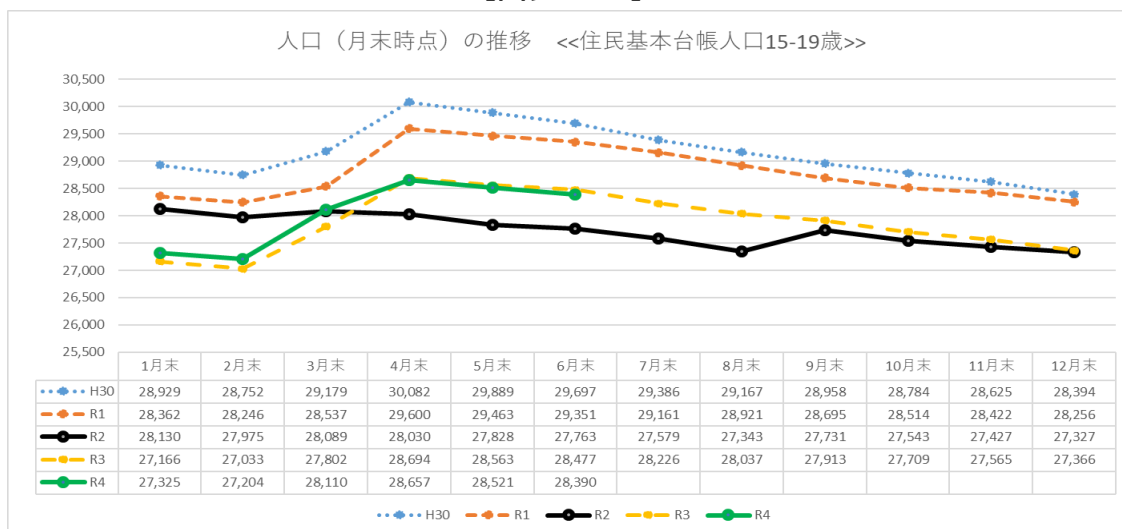
以上のことから、令和2年度（2020年度）は例年と違う傾向が見られたものの、その要因の一つは、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等がオンラインでの授業等を主体とした結果、4月からの通学が不要となり、本市への転入が減少したためであると考えられる。

なお、令和3年度（2021年度）については、大学等も通常通り対面での授業が再開されていることから、例年通りの傾向が見られることとなり、令和4年度（2022年度）6月末時点までも同様の傾向となっている。

【図表6-1】



【図表6-2】

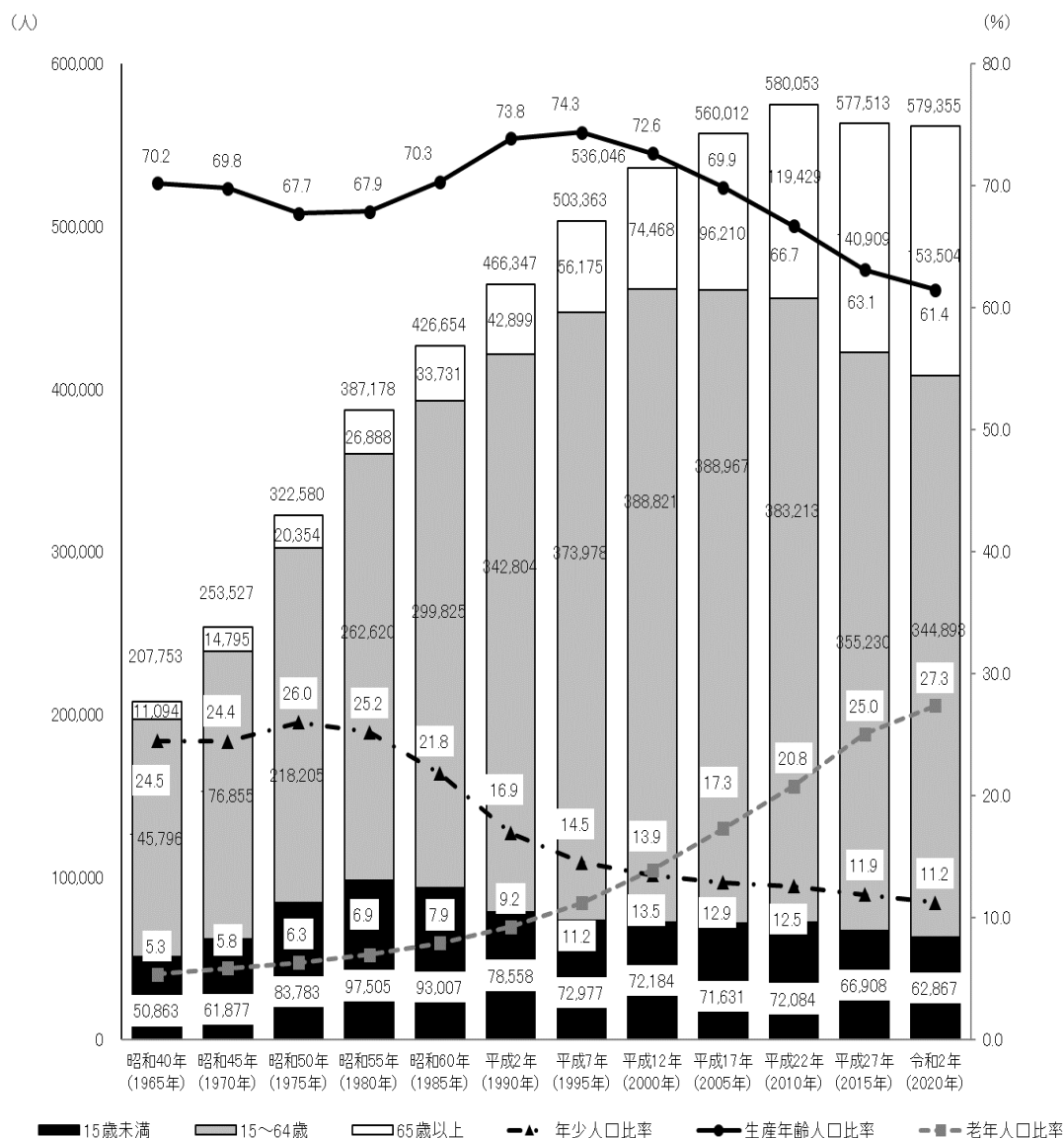


参考 国勢調査人口

国勢調査における八王子市の総人口は、平成22年（2010年）まで増加が続いていたが、平成27年（2015年）国勢調査では、577,513人と前回と比較して2,540人減少した。

最新の国勢調査（令和2年実施）においては、本市の総人口は579,355人となり、前回と比較して1,842人増加している。

《本市の国勢調査人口の推移》



※ 棒グラフ内の人口は「年齢不詳」を除いているため、棒グラフ上部の総数（年齢不詳含む）と一致しておりません。